

弱溶剤形高日射反射率塗料

ワイドエポールクール シリーズ

弱溶剤系

2液形

- 遮熱効果
- 高耐候性
- 低汚染性
- 防かび性
- 防藻性

WIDE EPOORLE COOL SERIES

建築塗料の総合メーカー

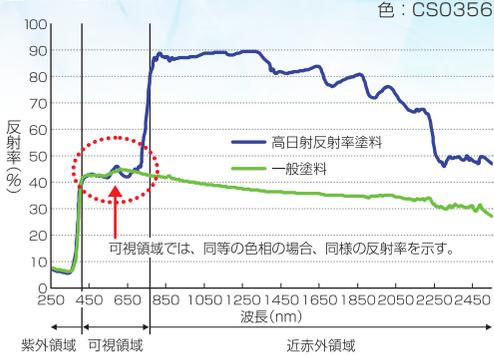


スズカファイブ株式会社

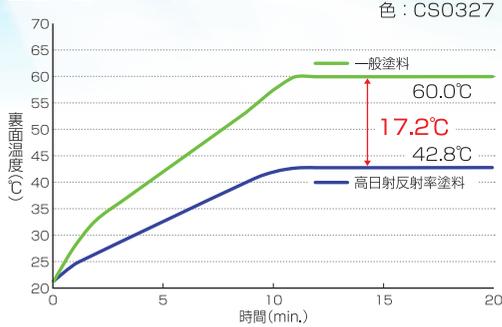
ワイドエポークールシリーズ

高日射反射率塗料(遮熱塗料)ワイドエポークールシリーズは一般塗料に比べて、近赤外波長域の光を高いレベルで反射するため、太陽光による温度上昇を抑制します。

■高い遮熱効果



■温度上昇の抑制効果



鋼板面に塗装し、レフランプの光を当て、裏面温度を測定

壁用標準色

日射反射率レベル: 【近赤外線反射率:80%以上】



↑CS4558 (淡彩) ★★★



↑CS5008 (淡彩) ★★★



↑CS2048 (淡彩) ★★★



↑CS0018 (淡彩) ★★★



↑CS0028 (淡彩) ★★★



↑CS4018 (淡彩) ★★★



↑CS2018 (淡彩) ★★★



↑CS6028 (淡彩) ★★★



↑CS3528 (淡彩) ★★★



↑CS4038 (淡彩) ★★★

JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 2種 1級 全明度
ワイドエポークール Fクール
 JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 2種 2級 全明度
ワイドエポークール Siクール
 JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 2種 3級 全明度
ワイドエポークール Uクール

下記のJISについても認証されております。

ワイドエポークールFクール: JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 1級・JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 1級
 ワイドエポークールSiクール: JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 2級・JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 2級
 ワイドエポークールUクール: JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 3級・JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 3級

日射反射率レベル: 【近赤外線反射率:65~80%】



↑CS6077 (淡彩) ★★★



↑CS4287 (淡彩) ★★★



↑CS4197 (淡彩) ★★★



↑CS4117 (淡彩) ★★★



↑CS4207 (淡彩) ★★



↑CS3226 (中彩) ★★



↑CS3037 (淡彩) ★★★



↑CS3507 (淡彩) ★★★



↑CS3586 (中彩) ★★



↑CS3596 (中彩) ★★



↑CS6507 (淡彩) ★★★



↑CS0057 (淡彩) ★★★



↑CS0106 (淡彩) ★★



↑CS0097 (淡彩) ★★

屋根用標準色

遮熱塗料

遮熱効果 ★★★★★

日射侵入比 (1に対して) 0.8~0.6 0.6~0.4 0.4 >

一般社団法人 日本塗料工業会

「遮熱塗料（屋根用）」業界基準
 日本塗料工業会では、遮熱効果の基準を満たした塗料を、申請によって「遮熱塗料（屋根用）」として登録しています。日射侵入比は、太陽熱1に対する遮熱効果（どのくらいの熱が室内側に伝わるか）を比率で表した数値です。その遮熱効果を★数で区分しています。なお、塗膜品質に関する保証、責任は、塗料製造会社および塗料販売会社が負うものとします。詳細は、日塗工ホームページでご確認ください。
 一般社団法人 日本塗料工業会

日射反射率レベル: 【近赤外線反射率: 80%以上】



↑CS0118 (淡彩) ★★★



↑CS0308 (淡彩) ★★★



↑CS2218 (淡彩) ★★★



↑CS4838 (淡彩) ★★★



↑CS7018 (淡彩) ★★★



↑CS8018 (淡彩) ★★★



↑CS4758 (淡彩) ★★★



↑CS2758 (淡彩) ★★★

日射反射率レベル: 【近赤外線反射率: 65~80%】



↑CS0327 (淡彩) ★★



↑CS0356 (中彩) ★★



↑CS0375 (中彩) ★★



↑CS7215 (中彩) ★★



↑CS3826 (中彩) ★★



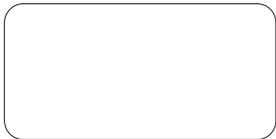
↑CS3856 (中彩) ★★



↑CS3915 (中彩) ★★



↑CS2776 (中彩) ★★



↑CS8037 (淡彩) ★★



↑CS8056 (中彩) ★★



↑CS7027 (淡彩) ★★



↑CS7056 (中彩) ★★

日射反射率レベル: 【近赤外線反射率: 40~65%】



↑CS2303 (濃彩) ★



↑CS2313 (濃彩) ★



↑CS2323 (濃彩) ★



↑CS2352 (濃彩) ★



↑CS0393 (濃彩) ★



↑CS8252 (濃彩) ★



↑CS2371 (濃彩) ★



↑CS0391 (濃彩) ★



↑CS8204 (濃彩) ★



↑CS8224 (濃彩) ★



↑CS8104 (特黄) ★



↑CS8123 (特黄) ★



↑CS7234 (濃彩) ★



↑CS7104 (濃彩) ★



↑CS7123 (特紺) ★



↑CS7152 (特紺) ★

・各製品とも、標準色設定のみとなります。
 ・色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上がりと色・つやが多少異なります。ご了承ください。
 ・色によって材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
 ・広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色より多少明るく見える場合があります。
 ・近赤外線反射率は、ワイドエポレー Siクルーの測定結果に基づく標準的な数値です。
 測定条件および製品の種類により若干増減する場合があります。

・高日射反射率塗料を塗装する場合、特殊な調色を行っておりますので、塗分量が少ない場合、色相が変化して見えたり、隠ぺい不足などが生じますので、標準塗装仕様を厳守してください。
 また、市販の種ペンなどでの調色は行わないでください。
 ・既存塗膜と同等の明度の色または淡い色での塗替えをお奨めします。明度が高い既存塗膜を明度が低い高日射反射率塗料で塗替えても遮熱効果が得られない場合があります。

標準(新設・塗替)塗装仕様

■金属系素地

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。 ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	エポクールワイド	100(無希釈)	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレクールシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上 7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、ワイドラスノン COOL・リフノンも使用できます。

■セメント系素地

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) ・素地は十分乾燥させる。				
	塗替時	・フックボルト及び取付金具の発錆部はサンダー、ワイヤーブラシ、研磨紙などを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は皮すき、サンダー、ブラシで除去する。 ・油脂類はシンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は十分に清掃する。(ブラシ・エアブロー・高圧水洗など) (特に、重なり部分や溝、金具周辺は入念に清掃する) ・素地は十分乾燥させる。				
下塗り	クールシーラーワイド	100(無希釈)	0.10~0.17	1	16時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
上塗り	ワイドエポレクールシリーズ 塗料用シンナー	100 0~20	0.10~0.16	2	(工程内) 16時間以上 7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、リフノンも使用できます。

□新生瓦の場合、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスパーサー部材(タスパーサー等)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮すきなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。

■塗装上の注意事項

- 降雨・降雪が予想される時、強風の時は塗装を避けてください。
- 気温 5℃以下、湿度 85% 以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- 塗装面が高温(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 塗装面は、十分に乾燥させてください。
- セメント系の屋根材(化粧スレート瓦)で素地への吸い込みが多い箇所は、下塗りのクールシーラーワイドを増し塗りしてください。また、下塗り乾燥後に、ガムテープで基材表面からの剥がれが無いかを確認し、剥がれる場合は表層の剥離層を除去し、下塗りを再塗装してください。
- 屋根材の既存塗膜の劣化が著しい場合や、素地表面が露出し脆弱な場合は、塗替塗膜の剥離の原因となる可能性があるため塗装は避け、屋根材の貼り替えをお奨めします。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれ等が発生することがあります。
- 主剤・硬化剤は正確に計量混合し、使用前に十分かき混ぜ、均一にしてから塗装してください。
- また、可長時間内にご使用ください。
- すめずきは、たるみ、隠れ不足、つや不良などを生じますのでご注意ください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
- つや調整品は被塗物の形状、膜厚、色目、塗装回数、希釈率により、つやが異なって見える場合がありますので、ご了承ください。施工前に必ず試し塗りをを行い、つや等の仕上がりを確認した上で本施工を行ってください。
- 塗付量の数値は標準のものです。素地の形状や状態、塗装方法、塗装環境などによって増減することがあります。
- エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- JIS K 5659 の指定がある場合は、ワイドエポレクール中塗りをご使用ください。
- ワイドエポレクール中塗り
希釈：塗料用シンナー 0~20% 標準塗付量：0.12~0.16kg/m²/回
塗装間隔：16時間以上 塗装方法：はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り
- 公共建築工事標準仕様書に基づく仕様の場合は、別途お問い合わせください。
- 次のような素地の場合、付着不良やチズミを生じることがありますので、塗装を避けてください。
・清掃が不十分で汚れが付着している素地
・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため、塗装を行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン遊離プライマーを塗装してください。(ポリサルファイト系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びアクリル系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- 適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
- 開缶した状態で長時間放置しないでください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー #1000 またはスズカシンナー #2000 をご使用ください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

■取扱い上の注意事項

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。
(呼吸用保護具・頭巾・保護メガネ・長そでの作業衣・スリッパ・保護手袋・前掛けなど)
- スプレーミスト臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車庫などに飛散しないよう留意し、十分な養生を行ってください。また、家庭の換気口・空気取入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないよう目張りなどを行ってください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には、炭酸ガス・粉末または泡消火器を用いて初期消火をしてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。

塗装適用範囲

適用部位	・建築物(内外部) ・鋼構造物 ・屋根
適用素地	・金属系素地 鋼板・鋼材・アルミ・ステンレス 金属系サイディング・トタン・カラートタンなど ・セメント系素地 コンクリート・モルタル・スレート・PC 部材 窯業系サイディング・新生瓦・セメント瓦・波スレートなど
適用旧塗膜	合成樹脂調合ペイント・フタル酸樹脂エナメル アクリル樹脂エナメル・アクリルアルキド樹脂塗料 ポリウレタン樹脂塗料・塩化ゴム樹脂塗料・リシン・吹付タイル (シリコン・ふっ素樹脂塗料は不適)

可使用時間の目安

		気温(℃)			
		5	23	30	40
可使用時間(h)	F	10	5	3	2
	Si	13	8	5	2.5
	U	13	8	5	2.5
	中塗り	13	8	5	2.5

塗装間隔の目安(ワイドエポレクールシリーズ共通)

	気温(℃)			
	5	23	30	40
屋根以外の場合(h)	8	5	4	3
屋根塗装の場合(h)	48	16	12	8

荷 姿

- ワイドエポレ F クール
14kg セット(主剤 13kg 硬化剤 1kg)
2.8kg セット(主剤 2.6kg 硬化剤 0.2kg)

- ワイドエポレ Si クール
16kg セット(主剤 15kg 硬化剤 1kg)
3.2kg セット(主剤 3kg 硬化剤 0.2kg)

- ワイドエポレ U クール
16kg セット(主剤 15kg 硬化剤 1kg)
3.2kg セット(主剤 3kg 硬化剤 0.2kg)

- ワイドエポレクール中塗り
16kg セット(主剤 15kg 硬化剤 1kg)
3.2kg セット(主剤 3kg 硬化剤 0.2kg)
{ JIS K5659 鋼構造物用耐候性塗料 中塗り塗料
JASS 18 M-405 常温乾燥シリコン樹脂塗料用中塗り
JASS 18 M-404 アクリルシリコン樹脂塗料用中塗り
JASS 18 M-403 2液形ポリウレタンエナメル用中塗り }

- エポクールワイド ●ワイドラスノン COOL
16kg 18kg セット
4kg (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー)

- クールシーラーワイド ●リフノン
14kg 16kg セット
3.2kg セット
(JASS 18 M-201 反応形成樹脂シーラー)

色 相 仕 上 げ

標準色

つや有り、7分つや、5分つや、3分つや

※つや調整品については、JIS認証外となります。
※つや調整品は色及び下地の状態により、つやの見え方が異なります。また、製品によっても異なります。

- 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分にしてください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。消防法などに従って保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くさ)などを放置すると、塗膜に変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- 詳細な内容が必要なおときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071



●この見本帳に記載の内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳に記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。